

<週報No. 2,941> 3,052 回例会

2021年4月9日(金)

◆会長/岩波 寿亮 ◆幹事/小口 泰幸

◆司会=古屋了 SAA

◆ゲストビジター=金子ゆかり 諏訪市長

◆出席報告

本日	68.75%	15名欠席
前回訂正	80.85%	10名欠席

◆ラッキーナンバー=No.36 小針哲郎君

◆ニコニコボックス=●岩波寿亮君、小口泰幸君=本日は、金子ゆかり 諏訪市長にお越しいただきました。よろしくお願ひ致します●北川和彦君=結婚記念日の花、ありがとうございます。この花のおかげで記念日を忘れないですみます●小口武男君=金子市長、ようこそお出でいただきました●古屋了君=お花をいただいて●山本實君=金子市長、ごぶさたしています。本日は宜しくお願ひ申し上げます●金子ゆかり 諏訪市長=お招きいただきありがとうございます。コロナには重々お気を付け下さい●小針哲郎君=ラッキーNo にあたって。

◆会長告知・岩波寿亮会長=今頃が、清明と二十四節気では呼ばれる季節です。生きとし生けるあらゆるものが、清らかに生命を輝かせるという時期です。この一番過ごしやすい季節なのに、未だコロナ禍の最中です。先週も申し上げましたが、例会の在り方がいつどうなるか分かりません。事務局、出席委員会からのファックス等にいつも注意をお願いいたします。そんな中ですが、諏訪グループのゴルフコンペが今月24日に行われます。チャリティーとして、各自治体を通じ医療関係への寄付を行います。28日の新聞に広告を掲載しますので28日に各首長に寄付を届けて欲しいとのことです。しかし、その前日27日から諏訪市ではワクチン接種が始まるとのことで、関係部局はてんでこ無いのようです。そっと市長に渡したいと思っています。

さて、今日はその金子ゆかり 諏訪市長に卓話と申しますか、本来は1月22日に行うはずだった、年頭所感を願ひする例会です。金子市長、大変お忙しい中ありがとうございます。諏訪市のHPを見ますと、ワクチン接種の対象者は40,502人で、うち高齢者は15,006人とのことです。

人口減少と高齢化の問題ですが、これを日本創生会議が地方消滅というタイトルで発表し、もう何年か経ちます。地方創生の意味が、人口問題にすり替えられ、どうしたら人口減少を食い止められるか、これが論点になりました。しかし私は、コロナ禍を経験し、幸せな生活の送れる地域とは何か、について常に考える様になりました。少なくとも人口が増えれば問題が解決するという事は、幸せという切り口では幻想ではないかと思っています。

コロナ禍において、リモートワークが増えるから、都会から地方へ人の流れが加速することは、移住や二地域居住において少しは有ったとしても、基本的にはたいしたことはなく、せめて関係人口の増加でしょう。関係人口の増加はもちろん大切ですが、むしろ今ここに生活し働いている人たちが、今以上に生活しやすく働きやすく、他に誇れる街をつくることに邁進すれば、きっとそのことが人を呼ぶのではないかと思う訳です。前回告知の繰り返しになりますが、官民連携まちなか再生推進事業により、歩いて楽しく暮らせるウォークアブルな市街地形成、市民と来街者の交流促進等を図り、人々が出合い、憩い、楽しみ、かつ安心して住み続けることのできるまちづくり、諏訪湖等の水辺環境の再生・保全とストレスフリーな観光機能の充実、諏訪湖イベント広場の、年間を通じた、集積を誇る諏訪地域のものづくり産業の展示やイベント活用、市民交流、憩いの場としての利用、商店街や酒蔵と連携したそぞろ歩きのできる空間づくり、——そんな未来のビジョンこそがワーケーションを呼び、地方創生に資するのではないかと思う今日この頃です。

あとは、地域連携が課題になると思います。今日はこの辺で終わります。市長を前に戯言を言いました。

◆幹事報告・小口泰幸幹事=①本日の例会は金子市長にお出で頂きました。当初の予定では1月でしたがコロナの関係で延び延びとなってしまいました。後程新年度所感という事でお話を伺います。宜しくお願いします。②地区ローターアクトから5月8日に開催される国際ロータリー第2600地区ローターアクト第44回地区年次大会の案内が来ております。今年は新型コロナウイルスの感染拡大を考慮しZOOMを利用したオンライン開催となります。しかし、本年度は諏訪が当番で文化センターをお借りしてそこから配信する予定ですので会場にお越しいただきたいとのことです。詳細についてはこれから決まるようですので後日改めてご案内します。③2021-2022年度のた

めの地区研修・協議会が4月11日にZOOMオンラインで開催されます。新年度関係役員の方はご足労頂きますが宜しくお願ひ致します。④4月24日に開催される諏訪グループ「医療従事者支援チャリティーゴルフコンペ」には16名4組の申し込みを頂きました。御参加の皆様には後日詳細をご案内いたします。⑤次回16日の例会は親睦・クラブ親善委員会の担当で、ガバナー補佐訪問・お花見例会です。小島委員長よろしくお願ひします。⑥本日、北川会員から米山奨学会へ10万円、ロータリー財団へ1,000ドル(11万円)ご寄付いただきました。ありがとうございました。

◆クラブフォーラム 年頭所感・諏訪市市長

●プログラム委員会 山本實委員長＝1月22日に予定され延期されておりました諏訪市金子市長様の年頭所感です。ようやく本日、コロナ禍でお忙しい中、我がロータリークラブ例会にお越しいただき、誠にありがとうございます。会員一同、1月から楽しみにお待ちしております。本日30分という限られた時間ですが早速、令和3年度の諏訪市政等の年頭所感についてお話しいたきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

●年頭所感 金子ゆかり諏訪市長＝諏訪ロータリークラブ



の皆様、こんにちは。本日はお招きいただきましてありがとうございます。久しぶりにこの会に招いていただき、大変緊張して参りました。日頃から諏訪市政に

関して、ロータリーの皆様には大変なご指導、ご支援、ご協力をいただいておりますこと御礼を申し上げます。さて本日は、年頭所感を改め年度当初所感ということになるかと思いますが、今、皆さんが一番興味があることは何かと思ひながらやって参りました。それは多分、コロナ、ワクチンのことだと思います。それらについては後ほどお話しいたしますが、今、ちょうど新年度が始まり、新たなスタートができていることがありますので、少しだけご紹介します。

<小中一貫校について>4月7日に新しい上諏訪小学校が開校しました。高島小学校148年の歴史、城北小学校55年の歴史に幕を閉じ、城南小学校の通学区の一部を加えて、上諏訪小学校開校という新たな扉が開きました。こ

の学校は、隣の上諏訪中学校と小中一貫校としてスタートします。21世紀に今までとは異なる時代に合った学校のスタイルにしていくという希望を含め、また文部科学省の小学校、中学校のそれぞれの指導要領に縛られることが少なくなり、自由な交流ができます。例えば小学校5、6年生に、中学校の先生が教科型の授業をしたり、小学校の子供たちが中学校の校舎に行って数学とか英語とか学ぶことができたり、運動会などの様々なイベントで交流したりできます。さらに、先日の教育総合会議においては、次は四賀小学校、中州小学校、諏訪南中学校、この南部地区の小中一貫校に向けて調整を始めると決まりました。県立高校については、ここ第7通学区について、希望をまとめる協議会の会長を私が務めさせていただき、諏訪市の教育委員会が事務局を引き受け、3月末に原山県教育長に要望書をお渡ししてきました。同窓会や地域の皆様の高校に対する強い思いが大きな課題になると想像はしていますが、某高校同窓会の会長様は、高校は一定の規模がないといけないと理解している、という改革に向けた積極的な発言もいただき、背中を押された感じがしました。

<上諏訪駅西口から諏訪湖畔への道路開通>諏訪市の地元においては、上諏訪駅西口から柳並線が今まで中浜2号線で行き止まりになっていた部分を、諏訪湖畔まで延長し、来週14日が開通式です。次の週には、諏訪湖ホテル様、新しくは、かたくらシルクホテルと名前を改めましてオープンとなります。片倉さんも改築を考えたときに、敷地を諏訪市に譲るといご判断をされたようです。諏訪市としても半世紀・50年に1度のチャンスと捉え、予定にはありませんでしたが道を開通させていただく事業を決定させていただきました。駅の西口から諏訪湖がはっきり見える景観に、多くの方から好評をいただいております。ただ県警とずいぶん議論しましたが、信号機は中浜2号線の交差点にはつけることができず湖周線につきま。しばらくの間、4方向全部一旦停止という厳しい規制を入れることになりましたがご協力よろしくお願ひします。

<諏訪湖周の自転車道>湖畔公園には自転車道が作られてきています。諏訪市では先ほどの柳並線の突きあたりからヨットハーバーに向けて自転車道を作っています。ヨットハーバーからSUWAガラスの里までは県事業として整備を進めています。諏訪市は、ヨットハーバーまでの道が完成したら次は大和の方に向かって自転車道を整備していく予定で、概ね令和5年の春頃に完成する予定です。

私も先週土曜日の午後に、昨年購入したモンベルの(笑)自転車に乗って諏訪湖を1周してきました。自転車道ができたところは非常に快適でした。岡谷市様、下諏訪町様、長野県様と協力して湖周16kmの自転車道を作ろうと進めています。

<諏訪湖サービスエリアのスマートIC事業>その完成時期と同じ頃、令和5年春頃を目途に完成予定なのが諏訪湖サービスエリアのスマートIC事業です。来月5月22日に起工式を行います。諏訪市のアプローチロードから起工します。用地交渉も地元の皆様にご協力いただき順調に買収が進み、着工となりました。

<超少子高齢化社会に向けて>私の年度当初所感の半分くらいを、先ほど岩波会長からお話いただきましたので、そこは省かせていただきますが、現在、人口減少時代に入り、超少子高齢化社会を迎えています。21世紀に対して、人口の右肩上がり、戦後復興後の急成長、経済回復、バブルを経験した価値観で物を判断すると間違えてしまうと思います。グロスナショナルプロダクツのようなものが指標にありましたが、今は国境を超えて異なる課題を共有する時代になりましたから、人口が減少していくのに合わせ、適正にそれに見合ったものをステップとして整えていくのが大事だと思っています。若い人は幸せで、年を取ったら課題や病気などがあって幸せではないと幻想を持っている方がいるかもしれませんが、個人差がありますから年齢によって幸せの軸が違うということはないと思います。幸せ度はそれぞれあり、年をとろうが若かろうが忙しかろうが幸せとを感じる人は幸せ、幸せ度は別にあると思います。いろいろな諸課題を抱えた社会ですが、その中で行政が一番大事にしなければならないのが安全です。危機管理をしっかりと、安全安心をキープした上で、楽しみとか充実してくると健康、そして幸せにもつながると思います。そのための施策を1つ1つ取り組んでいます。

<諏訪地域 新入社員歓迎会での挨拶より>諏訪地域では、一昨日新入社員の歓迎会を行い、商工会議所会頭と一緒に主催させていただきました。諏訪地域は、他の地域に比して独立自尊、自主自立の精神がしっかりあると思います。それは明治時代のシルクから、精密、そして新たに先端技術にチャレンジし成功させてきた歴史があり、また御柱祭では氏子たちが怪我と弁当自分持ちという気概で奉仕したりと、精神的な力強さも持ち合わせています。

ご縁があって諏訪に就職してくださった若者たちに、「はやぶさのイトカワを捉えたレンズは諏訪の会社が作ったこと、ローバーを動かしたモーターには諏訪の会社のICチップが搭載されていること、そして、今や、宇宙から地球を眺める時代になりました。その地球はどんな星か、というと空気のない真空の宇宙の中に、ぽっかり浮いたオアシスのような星で、空気もあれば水もあり我々生物が生きていける環境があった。しかし、今起こっていることは温暖化で、気象状況も激しい台風が来たり地震が起こったりしている。限りある空間に共住している我々が、地球環境に対してしっかりコミットしていかなければならない時代になった、これがSDGsという考えです」とお話ししました。諏訪市は新たな第6次総合計画を策定することになり着手していますが、福祉、教育、環境、産業等のあらゆる方面で横串を通してテーマにしなくてはならないと思っています。「地球の周りには数限りない衛星が飛んでいまして、今や、衛星同士がぶつからないようにコントロールするのが大変なくらい密集状態にありますが、でもそのおかげで、我々は車に目的地をセットすれば到着できる便利な技術を享受しています。21世紀はデジタル革命ということで、かつて産業革命もありました。政治が世の中を変える部分は限定的ですが、技術はグローバルかつドラスティックに世の中を変えるということを体験しており、このトレンドもしっかり取り入れていかねば時代についていけなくなる」とお話ししました。

<諏訪市役所での新任係長研修より>1つ宣伝ですが、女性登用の件です。今まで諏訪市役所には女性の管理職は部長が1人、課長が3人おりました。部長が退職されましたが、課長を4人増やして合計7人になりました。課長職では全体の24%です。

昨日、新任係長研修が諏訪市役所内でありました。11人が新任になりました。私のマニフェストのタイトルは「透明度日本一のまち輝く諏訪」です。この透明度は何か、を解説しました。諏訪湖の水、空気の爽やかさなどはさらに磨きをかけていくものですが、もう1つは人と人との心の壁、セクション間の壁をなくすことです。例えば3年前に、あゆみステーションという窓口を作り、子供を妊娠した段階から18歳になるまでどんな課題でもこの窓口で受け付けて各部署に割り振るしくみ、つまり窓口のワンストップ化を行いました。また同じ職場で働く隣同士で全く話をしていない人もいましたが、そういう状況では

休もうと思っても代わってもらえない、だから同じ職場で働く同士での透明性も必要だとお伝えしました。さらにもう1つは、見通しが利くかどうか、つまり未来に対する見通し、計画です。私は総理大臣を支える首長の有志の会に入っています。約100人ぐらいのグループです。その顧問は松任谷正隆さん（ユーミンの旦那様）で、車の評論家もやっていてJAFのコラムも毎月書いています。彼がWeb講演した際に、事故を起こす人は直前の車を見ており、事故を起こさない人は3台くらい前の車を見ていると。これは自治体経営も同じだと思います。少し先を見据えて早め早めの手当てをする必要がある、と。

<諏訪市政について>今年度は計画をいくつも作る年度になっています。総合計画を10年計画の前半5年、後半5年と進めてきましたが、これだけスピードが早い時代となりましたので、新たな6次計画は5年計画で策定します。もう1つは環境基本計画を作ります。昨年12月に長野県がグリーンボンドを50億円発行した内の一部を、自治体では3つの自治体が購入しました。諏訪市は1億円購入したところ、知事からパネル会議をするから代表で出席してほしい、と依頼され参加しました。阿部知事は、全国知事会の中の環境に関する委員会の責任者をやっており、ゼロカーボン宣言を47都道府県で先んじて宣言しました。その際、所属する77市町村の首長全員が賛同しましたが、まだ宣言についてはしていない市町村の方が多いわけです。そこで知事から、グリーンボンドの取組みについてお褒めいただきながら諏訪市はいつ宣言するんですか、と聞かれたので、令和3年度に環境基本計画を作り、その後市民の理解を得ながらタイミングを見計らって宣言したいとお答えしました。そうしたら、翌日、新聞に「諏訪市環境宣言、来年度中」と書かれてしまって、良いプレッシャーになっています。

最近の話題としては、中島恵理さんが環境省を退官され、地元で活動します、と昨日ご挨拶に来ていただき、上記のことと今日ここにいらっしゃるSDGsを推進する企業の皆さまと協力して環境宣言の実現を目指したい旨をお伝えしました。すると、そうした事例はレアなことであり、環境省事務次官の中井さんは、積極的な取組みに対してどこにでも赴いてくれるから呼びましょう、というお話がありました。そうなるように努力したいと思います。

<コロナワクチンについて>最後にコロナワクチンの話です。県からはモデルケースごとに手を挙げるよう要請

され、諏訪市は集団接種型というモデルに手を挙げました。ちなみに茅野市は施設摂取型です。諏訪市は、ワクチンが届くのが4/19週です。それに間に合わせるために、まずは65歳以上の方にワクチン接種券を配送し始めましたが、ワクチンの数が1,000回分なので、全然足りません。そこでまずは80歳以上の方（5,000人）を優先して行うことにし、タクシーチケット（1人4枚）も同封して郵送しました。4/12からコールセンターを設置します。そこで接種の予約を受け付けます。集団接種会場（清水町体育館）で接種してもらいますが、ドクターの手配も必要です。ドクターは普段のお仕事もありますので、週2回、平日のお昼休みの時間に来ていただきます。そのドクターのローテーション表の作成も必要になります。ドクターのことだけではなく、1人2回の接種を市側で管理することも必要になります。接種会場では、入口のゲートをくぐった後、問診（基礎疾患の有無、現在の体調チェック等）が必要になり、接種を行い、その後はアナフィラキシーショック対策として20分ぐらい会場に残っていただくことも必要です。まずは集団接種会場での集団接種から始め、それが軌道に乗ってきたら施設訪問接種も広げていくことも考えています。諏訪市の摂取対象者は4万人ほどありますが、接種完了までには何ヶ月もかかると思います。昨年、定額給付金を送ったときも、4万8千数百人に送るべく市役所の職員百数十名が特別対応しましたが8月末までかかりました。今回はそれよりも複雑なので対応の期間がかかるかと思っています。

これまで諏訪エリアに大きなクラスターもなく今日まで頑張ってきたのは市民および事業関係者の皆様のご協力があったことだと思います。早く日常の暮らしを取り戻すためにも、今やるべきことを皆さんと力を合わせて頑張っ乗り越っていきたいと思います。引き続きご支援ご指導をお願いし、再度皆様のお力に感謝申し上げます。本日はお招きいただきありがとうございました。

◆今後の例会日程

4月16日	金	ガバナー補佐訪問・お花見例会：中止
4月23日	金	クラブフォーラム 外部講師卓話
5月14日	金	クラブフォーラム 関係団体活動報告